

人口減少時代に軟包装業界は どう対応するか

全国グラビア協同組合連合会

会長 田口 薫



1. 日本の人口

4月12日の総務省の発表によると、2023年10月1日時点の日本の総人口は外国人を入れても1億2435万2000人と、前年より59万5000人減少、2008年の1億2808万4000人をピークに13年連続で減り続けています。75歳以上が約2007万人、15歳未満は約1417万人で、将来を担う層は48年間減少傾向です。一方、外国人は全体の2.2%の315万人で昨年は24万人増加となっています。この先も日本人が減り外国人が増える傾向で、ますます外国人が日本を支える時代が来ているのではないのでしょうか。45年後には外国人の割合は全体の10.8%になると予想されています。そのことを踏まえて、日本人はこうした社会に適応していかねばなりません。もし外国人をシャットアウトすれば、人口は1年に83万人減り、さらに少子高齢で100万人減もあるかもしれないのです。このまま何の策も講じなければ1億人を切り、消費も社会インフラも成り立たない時代が来ます。まず、このことに真剣に向き合わねばなりません。

税収減、社会保障費増、行政サービス低下、財政危機、地域社会維持困難、生産する人より養ってもらう人が多くなり、若年層の負担はますます重くなります。経済規模、国内市場の縮小で国民一人ひとりの生活の質が低下するなど、その他多くの弊害が予想されます。

いずれにせよ、今このことに真剣に向き合い、対応していかないと取り返しのつかないことになるでしょう。国の衰退、破綻もあるかもしれません。チャレンジせず安定志向が強くなり、政治家、経済人、官僚も年寄り中心で、責任回避社会となってしまうのでしょうか。

フランスのように国が子育てをバックアップして少子化を克服する国もあります。また、ロボット(AI)でカバーするとしても、逆にAIに仕事を奪われるでしょう。結局、海外から移民を受け入れるしかないのではないのでしょうか。

国連のデータによると、2015年の諸外国の移民受入れ数は、アメリカ4662万人、ドイツ1200万人、ロシア1164万人、サウジアラビア1018万人、イギリス854万人です。日本に住む外国人は315万人と極端に少ない数字です。これまで移民難民に門戸を閉ざした政策の結果の表れです。

日本もこれから若年人口の激減に対応して、健やかな若年層を外国から招いてでも定着していただかねばなりません。幸い日本は物価も安く、気候風土も暮らしやすい。社会インフラも後進国からみれば整っています。国民性は大人しく外国人を大切にする気風を持っています。先のアメリカ、イギリス、ドイツなどで移民を受け

入れた結果、起きた現象に学んで日本政府は不法労働を取り締まり、本人および中間の紹介所、管理団体の絞めつけの強化からスタートするでしょう。全グラ組合が大きな役割を果たすよう期待されています。いくら人手不足とは言え、私たちは最初からコンプライアンス違反の外国人募集は認めてはいません。

2. ソフトパッケージでの生産、流通と人口減少対策

業界各社が適正な販売価格、コンプライアンス等を実施しているかどうかをチェックして適正企業でなければ勧告する。社員にとって同業、仕入先、協力先、得意先、ひいては社会貢献の低い会社は外国人を雇用できない等の仕組みを作って、業界の浄化を図ることも考えるべきでしょう。

私たちソフトパッケージ（軟包装）業界はサプライチェーンの要であり、エッセンシャルな存在です。社会を支えている業界として健全な企業を育成し、存続させる義務があります。売上げ競争やシェア争いより優先させるべきこととは何でしょうか？ 人間尊重、社会の発展等を今まで本当に考えてきたのでしょうか？ 日本のソフトパッケージは世界一の高難度な品質であり、そのためクレームに苦しみ、ハイレベルなモノ作りを社員に求めてきました。その働きに対して社員に十分報いてきたのか、人が集まる業界になっているのでしょうか？ 外国人にとりあえず頼んでも世界一給料が上がらない日本で外国人も来なかったら？ 足元の社員の待遇改善をするために価格転嫁、修正をしつつ、社員や材料メーカー、設備メーカー、外注先への還元をやり抜いていかねばなりません。

TOPPAN、大日本印刷、レンゴーの各社は「パートナーシップ構築宣言」を出し、今までのような安値を要望する姿勢を大転換しています。各社ホームページをご覧ください。驚かれると思います。日本のソフトパッケージの半分をこの3社で供給しています。まだ大手のシェア争いで価格が下がると思っている方も多いと思います。旧態依然の経営では経済産業省、中小企業庁の下請 G メンから指摘され改善を求められるでしょう。

巻末に地獄の食卓、天国の食卓の絵を入れておきます。結局、利己のみでは世の中は成り立たず、利他の心が幸せをもたらします。仏教でもキリスト教でも説いている教えを図で示したものです。日本が良い国になるよう、良い習慣や制度を後進の人々に残すのも私たちの務めでしょう。



地獄の食卓



天国の食卓

GP 認定制度申請についてのお願い

GP マークの製品表示が可能となりました



全国グラビア協同組合連合会

平成20年よりグリーンプリンティング認定制度の受付（グラビアは第7回より開始）が始まっています。これまでの認定工場は、**68事業所**となっております。今年度の目標は70認定工場です。

GP 認定の取得によって、VOC 排出削減、CO₂ の排出削減等の「環境保全」「省エネ・省資源」と「安全・安心」の確約をし、差別化が進む社会に対応し長期不況の厳しい中で勝ち残る最大の武器になると考えます。現在「日印産連」において GP の周知活動が行われ、社会的な認知向上が進んでおります。

毎月「日印産連」において説明会が開催されております。この機会を逃さず参加されることを望みます。なお、グリーンプリンティング認定制度に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館8階

日印産連グリーンプリンティング認定事務局

(TEL: 03-3553-6123 FAX: 03-3553-6079 E-mail: gp-nintei@jfpi.or.jp web: <http://www.jfpi.or.jp/>)

※なお、GP マークが軟包装グラビア印刷製品（袋等）に表示が出来るようになりました。

「グリーンプリンティング（GP）マーク製品表示の手引き」をご参照願います。

【GP 制度概要説明会開催について】

- 毎月原則2日開催
- 参加費無料
- GP 制度と申請方法を分かりやすく説明
GP 認定制度の概要、GP 認定取得、GP マーク表示のメリット、GP 申請方法の概要等
- 当日、ガイドラインをお渡しします。
- GP 申請を希望する方で、まだガイドライン等を読んでいない方はこちらに参加の上、下記申請書作成説明会にご参加下さい。
- 各印刷部門共通です。
- 印刷業界内外問わず誰でも参加できます。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

7月2日(火) 15:00~16:30 Zoom 開催

【GP 申請書作成説明会開催について】

- 毎月原則20日開催
- 参加費無料
- 申請に必要な次の内容を具体的に説明
GP 申請書の書き方
添付書類作成方法
現地審査の内容等
- チェックシート記入の上、ご参加下さい。もちろん、不完全でかまいません。
- 参加希望者は事務局にお申込み下さい。

【グラビア印刷部門】

6月20日(木) 15:10~17:10 Zoom 開催

7月18日(木) 10:00~12:00 Zoom 開催

GP JAPAN

全グラ情報

2024 年 6 月号 No.283 全国グラビア協同組合連合会

今月の表紙



5月19日(日)、20日(月)、鹿児島県で開催した関西グラビア協同組合の第54期通常総会の2日目の早朝(5時40分)、奥田拓己副理事長がジョギング中にiPhone 15 Proで撮影した桜島。宿泊先の鹿児島サンロイヤルホテルから海に向かったところにある与次郎ヶ浜から撮影したとのことです

CONTENTS

巻頭言 人口減少時代に軟包装業界はどう対応するか ①

全国グラビア協同組合連合会 会長 田口 薫

GP 認定制度申請についてのお願い ③

全グラ ⑥

全国グラビア協同組合連合会 理事会：値上げ活動で設備投資や社員還元を。GP 認定は70工場を目標に

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合 第54回通常総会・理事会：ソフトパッケージはサプライチェーンの要。価格転嫁、適正価格で良いものづくりの好循環を ⑩

関西グラビア協同組合：第54期通常総会開催報告 ⑱

Data Watch 2024年2月 ⑳

紙・プラスチック・ゴム製品統計月報に見る包装印刷 2024年3月 ... ㉓

GP 工場認定制度無料説明会のご案内 ㉔

JFPI 36

第57回 GP 工場交流会：「GP を携えて、理想の未来へ」と題し事例発表、
北四国グラビア印刷の林 健二営業部部長

パートナーシップ構築宣言記載要領 2020年6月（2024年3月 改正） ... 39

未来を拓くパートナーシップ構築推進会議 事務局

Information

丸東産業、電子レンジ用包材「楽チンさん」出荷開始 9

大和グラビヤ、長野県飯田 OIDE 長姫高等学校ラグビー部の企業スポンサーに ... 35

GPJAPAN は全国グラビア協同組合連合会が
発行する機関誌です。年間購読料は送料込みで
15,000 円＋税です。

購読および広告出稿を希望される方は、
全国グラビア協同組合連合会まで。
e-mail:zenkoku-grv@utopia.ocn.ne.jp



発行：2024 年 6 月 10 日

発行人：田口 薫（全国グラビア協同組合連合会会長）

発行所：全国グラビア協同組合連合会

〒130-0002 東京都墨田区業平 1-21-9

あさひ墨田ビル

TEL.03-3623-4046、FAX.03-3622-1814

編集スタッフ：袖山高明（全国グラビア協同組合連合会専務理事）

渡邊富美子（同事務局）、酒井由香（同）

編集協力：(株)加工技術研究会

印刷：(株)DI Palette

© 全国グラビア協同組合連合会 2024

落丁・乱丁はお取り替えます。GPJAPAN の無断複写・複製・転写・転機は、著作権法で認められているケースを除き、
禁止されています。また、磁気・光磁気媒体等への記録することは禁止します。

全国グラビア協同組合連合会 理事会

値上げ活動で設備投資や社員還元を GP 認定は 70 工場を目標に

全国グラビア協同組合連合会は、2024 年 4 月 25 日（木）午後零時 50 分～4 時まで、第一ホテル両国において定例理事会を開催した。出席者は、田口 薫会長（関東グラビア協組・最高顧問理事：大日本パッケージ(株)、安永研二副理事長（同・副理事長：東包印刷(株)、竹下晋司副理事長（関西グラビア協組・理事長：(株)ダイコー）、若狭博徳副理事長（北海道グラビア印刷協組・理事長：(株)北海サンコー）、石井 純副理事長（関東プラスチック印刷協組・理事長：(株)多漣堂）、吉原宗彦理事（関東グラビア協組・理事長、東京加工紙(株)、川田雄治理事（同・副理事長、トーホー加工(株)、母里圭太郎副理事長（九州グラビア協組・理事長：(株)平野屋物産）、山下雅稔理事（関東グラビア協組・副理事長：(株)巧芸社）、東 勇一理事（関東プラスチック印刷協組・副理事長：(株)トーショー）、佐伯陽子理事（埼玉県グラビア協組・副理事長：(株)佐伯紙工所）、市村清一理事（同・理事長：(株)ダイトー）、大野寿之理事（北海道グラビア印刷協組・副理事長：極東高分子(株)、杉山真一郎副理事長（東海グラビア印刷協組・理事長：富士特殊紙業(株)、浮田信也理事（同・副理事長：大和産業(株)、賀谷真尚理事（北陸グラビア協組・理事長：賀谷ゼロファン(株)、織田憲三理事（同・理事：アートパックス(株)、中村政晃理事（九州グラビア協組・副理事長：(株)三裕商会）、袖山高明専務理事、都築晋平顧問の 20 名。

今は値上げのチャンス



田口会長

開会に当たり、田口 薫会長は冒頭、減少を続ける日本の人口問題（今月号の巻頭言を参照）や人手不足に触れつつ、次のように挨拶した。「低利益経営は続かないことを身に染みて理解しないと、労働者も来なくなってしまう。これは深刻な問題です。古い情報のままでは価格転嫁ができません。今は値上げをするチャンスです。皆さん、それを知らずに自分を縛ってしまっていることが、今の一番の問題点ではないでしょうか。最も大事なことは企業が継続すること、そして成長、発展するこ

とです。全グラは過去、各社それぞれであった見積の研究をしました。値上げを実施してきた組合員は、それを設備投資や社員還元してきたことで、今の我々がいて、良いものが作れるということだと思っています。今はしっかり値上げをして、こうしたことを行っていないといけないと身に染みている次第です。どうしたら、日本にとって有用なものを生産し続けることができるか、オペレーター、技術者などを教育して送り出していけるかが課題だと思っています」。

概況

- ・夏にかけて値上げ活動に取り組んでいく
- ・当面の問題は値上げ活動で、5月から業界として取り組まないといけない
- ・物流の2024年問題のためにも値上げが必要
- ・原材料アップと一部ユーティリティコストを乗せて値上げを予定
- ・人材確保に向け、労務費の値上げを予定
- ・ユーティリティ、人件費の値上げをしなければ企業・業界の存続に関わる
- ・みんなで価格・給料を上げていかないと人も来なくなる
- ・ユーティリティや労務費のみを値上げ交渉するのが難しい。どのように交渉されているのかを伺いたい
- ・仕事をもらえなくても仕方ないというつもりで交渉している。労務費以外もすべて値段が上がっているので会社存続のために、と強気をお願いしている
- ・値上げの根拠を示してほしいというところがあるが、決算書を基に材料費がどれだけ上がったか、前年度との対比などを説明した
- ・仕事がなくなってもいいと思って値上げにいくことは重要。仕事がなくなっても減収増益につながることもある
- ・2月、3月は仕事量が減少
- ・観光客は多いが、モノからコトへ移っている状況で、包装資材が動いていない
- ・ここ2年ほど、GW前の残業が減少
- ・働きやすい環境のために休暇を増やしたいし、賃金も上げたい。それを今後も継続できるように価格転嫁していく
- ・技能実習制度で既に忙しい中、特定技能は全グラ所属が要件であり、今後の実務が不安
- ・「ソフトパッケージ」という言葉の普及、業界の地位向上のために新聞広告などのキャンペーン実施を
- ・消費者は節約志向。賃金アップが購入量の増加につながるのではないかと

総会等について

袖山専務理事より、2023年6月7日（金）午後3時30分より、福岡・オリエンタルホテル博多で開催される第54回全国グラビア協同組合連合会総会・理事会・懇親会について、総会・理事会出席者が81名前後、懇親会が91名との報告と、各単組より下記総会開催日程の報告があった。

北海道グラビア協組：5月17日（金）

関東グラビア協組：5月16日（木）

埼玉県グラビア協組：5月23日（木）

関東プラスチック印刷協組：5月28日（火）

東海グラビア印刷協組：5月31日（金）

北陸グラビア協組：5月23日（木）

関西グラビア協組：5月19日（日）、20日（月）

九州グラビア協組：6月7日（金）

引き続き、袖山専務理事より、決算報告について4月18日実績での予想と、今年度の印刷産業環境優良工場表彰等の顕彰関係検討状況の報告があった。環境優良工場表彰については、「せっかく申し込みの準備をしていただいた組合員様には申し訳ないが、今年度も開催休止で今後の検討期間が延長している」とのコメントがあった。



GP 関連

山下雅稔理事から次のような報告があった。「GP認定工場は昨年度70工場を目標にしていたが、66工場と目標達成に至らなかった。組合員数で見ると、約4割の会員が認定を取得しているが、複数工場で取得している企業もあるので、実態としては60社前後。

残りの約 100 社はまだ認定工場ではないので、ぜひ GP 認定取得への働きかけ、目標達成にご支援いただきたい」。

GP 環境大賞等表彰式とトークショーは、東京・日本出版クラブにおいて 10 月 30 日(水)に開催が決定した。4 年振りに懇親会も予定しているので参加のお願いがあった。併せて、GP マーク表示について、「グラビア部門の表示件数は進んでいるが、全体から見るとまだ少ない。ほとんどの人が毎日、我々が生産する包材を手にとってている。そこに GP マークが付けられることは社会に大きな影響を与える。こちらもご支援協力をお願いしたい」とのことであった。

特定技能制度

2024 年 3 月 29 日の閣僚会議で決定した特定技能制度について吉原理事より、「グラビアは、工業製品製造分野の中の印刷・製本業務区分に分類される。印刷・同関連業（印刷・製本区分）は、全国グラビア協同組合連合会、全日本印刷工業連合会、全日本製本工業組合連合会のいずれかの団体に所属することが要件となるのがポイント。スケジュールや詳細は今後議論していく」との報告があった。

i Information

丸東産業、電子レンジ用包材「楽チンさん」出荷開始

丸東産業(株)は、新たな機能包材のラインアップとして、2024 年 5 月より電子レンジ用包材「楽チンさん」の出荷を開始した。主な特徴は次の通り。

- ① 蒸気口より蒸気を抜くことができるので、袋のまま電子レンジでの加熱が可能。また、袋を寝かせたまま加熱することができるため、表面積を広くし加熱することで加熱ムラが少なく調理することができる。
- ② 同社の「イライラフリー直進くん」加工^{※1}を施すことで、開封時に直進性を有した（真っすぐ切れる）開封が可能な電子レンジ用の包材となる。
- ③ 同社の「遮光くん」^{※2}を使用することで、

アルミ箔と同等の遮光率を有する電子レンジ用包材となる。

- ④ ②と③を同時に組み合わせることで開封時に直進性を有し、かつアルミ箔と同等の遮光率を有する電子レンジ用包材となる。

※1：イライラフリー直進くん加工とは、直進易カット加工を施すことで、袋を開封する際に切り口を直線的に誘導し、袋を真っすぐに開けることができる加工

※2：紫外線・可視光線を 99.9%カット可能なフィルム。アルミ箔と同等の遮光性を有したフィルムで、金属成分を含まないので電子レンジ・金属探知器にも使用可能

組合員・単組の近況

関東グラビア協同組合 第54回通常総会・理事会

ソフトパッケージはサプライチェーンの要 価格転嫁、適正価格で良いものづくりの好循環を

関東グラビア協同組合は、2024年5月16日（木）午後3時より、東京・第一ホテル両国「楓の間Ⅰ」において第54回通常総会を開催し、令和6年度の活動方針として、①省エネ、省資源とプラスチック資源循環による地球環境保全への対応、②全国グラビア協同組合連合会の傘下組合として、技能実習評価試験の実施体制のさらなる拡充に協力するなどについて承認した。当日は、組合員数41名中、本人出席15名、書面議決書・委任状出席20名、合計35名が出席した。本人出席は、吉原宗彦理事長（東京加工紙㈱）、田口 薫最高顧問理事（大日本パッケージ㈱）、安永研二副理事長（東包印刷㈱）、山下雅稔副理事長（㈱巧芸社）、川田雄治副理事長（トーホー加工㈱）、橋本 章理事（橋本セロファン印刷㈱）、千田 敦理事（㈱東京ポリエチレン印刷社）、小林直人理事（八潮化学㈱）、村野 剛理事（信和産業㈱）、諸石武士理事（日本パッケージング㈱）、福島 潤理事（㈱東和プロセス）、柴田里香理事（千代田オーク法律事務所）、佐藤裕芳監事（㈱千代田グラビヤ）、岸本一郎監事（㈱カナオカ）、袖山高明専務理事。

理事長挨拶



吉原理事長

冒頭、吉原宗彦理事長が次のような挨拶を述べた。

新型コロナウイルスが5類に移行してから1年が経ちました。ゴールデンウィークはどこに行っても人、人で大変な賑わいでした。こうした光景を見ると、コロナウイルスがあったのかなと思うほどに、どこも活況でした。

新聞報道でも大企業の決算報告が報じられていますが、自動車大手7社は最高売上高、5大銀行は最終益が合わせて3兆円超、上場企業も3分の1が過去最高益を上げています。バブル期の再来のように思われますが、足元の状況は、消費指数は3月が前年比マイナス1.2%で13カ月連続のマイナス。2023年度では実質ベースで同

3.2%のマイナス。これはコロナ水準前のマイナスということです。物価高が消費者に与える影響が節約志向に向かっていると感じます。

食品パッケージを扱うグラビア業界ですが、大手企業を含め、なかなか生産工程が埋まらないという声が聞かれます。こうした中、4年連続5回目のインキとフィルムの値上げが打ち出されました。今年は弊社を含め皆さんの会社でも大幅に賃金アップを行いましたし、「物流の2024年問題」で運送費が上昇する中、毎年の恒例行事のような感じですが、値上げ活動を行わなくてはならない状況になりました。

一方、グラビア業界では大手コンバーターは無理な価格競争を行っていませんし、値上げをして見合わない場合は商圈を失ってでも切り捨てるという取り組みをしています。

そして、我々が取り扱う「ソフトパッケージ（軟包装）」は、食の安全・安心になくてはならないものです。全国グラビア協同組合連合会の田口 薫会長も言われていますが、ソフトパッケージはサプライチェーンの要で、エッセンシャルな存在です。そして、安永研二副理事長もいつも言われていますが、ソフトパッケージは高機能・高品質・高付加価値です。こうしたものを安く売ってはいけないと思っています。値上げに対してしっかり価格転嫁し、適正価格で販売し、社員には適正賃金を支払って、良いものを作っていくという好循環が当たり前に行えなければなりません。営業の皆さんも大変だと思いますが、自信を持ってしっかり値上げ活動を行ってほしいです。

もう1つ深刻な問題は人手不足です。これに対して、「外国人技能実習制度」を廃止して、在留期間3年間の「育成就労制度」への移行、さらには「特定技能制度」へと動き始めています。

特定技能制度は対象分野が12分野から16分野に拡大、そこにグラビア印刷作業の業務も追加認定されました。そして、グラビア印刷における同制度の使用条件は、全国グラビア協同組合連合会への所属が条件となっています。これは、国に我々の人手不足、我々の業界の必要性を認めていただいた証であるとともに、これまで外国人技能実習制度において真摯に向き合い、運営してきたことを認めていただけたからではと思います。

これを機に、組合へ新規加入する会社も増えると思いますが、我々もしっかり吟味精査しながら取り組んでいくために、皆さんのお知恵をお借りしたいので、今後とも組合活動にご協力をいただきたいと思います。

第1号議案 令和5年度決算関係書類承認の件

司会の**袖山高明専務理事**が**村野 剛理事**を議長に指名、第1～3号議案の審議に入った。

はじめに、**安永研二副理事長**から令和5年度の事業報告が行われた後、袖山専務理事が令和5年度財産目録、貸借対照表および損益計算書、剰余金処分案について報告を行い、**岸本一郎監事**が監査報告書を読み上げ、全会一致で承認された。



安永副理事長



袖山専務理事



岸本監事

令和5年度事業報告

令和5年度は、昨年5月に新型コロナウイルス感染症2類から5類への変更の影響が顕著に現れ、インバウンド需要の回復や国内観光等々も徐々に回復基調に向かいつつある。また、大手コンバーターを中心とした値上げの動きが一段と加速し、様々な分野で好調を迎える環境が整いつつある。しかしながら、地方や一部中小コンバーターの値上げの動きは未だに鈍く、賃金に反映するには至っていない。ともすると、賃金上がる前に諸物価の値上がりにより消費の回復が見えづらく、賃金アップによる景気の好循環になるどころか、年後半には、為替相場が円安に振れたことで原材料価格が上昇、食料品をはじめとした各種生産財の価格を押し上げた。その結果、株価が30年ぶりに最高値を更新したにも拘わらず、実感としての景気の回復感に乏しいのが実情である。

さらに、従来若年労働力不足が指摘される農業等の一次産業のみならず、製造現場においても人手不足は深刻な様相を呈してきた。受注はあるが人手不足で機械を動かせない等、以前なら考えられない状況も発生しつつある。加えて、働き方改革の一環で長時間の過重労働削減の動きが加速、特に物流業界においては、ドライバーの残業規制のために「2024年問題」として一気に表面化してきており、年度末にはインキ工業会から正式に受発注サイクルの見直しを含む物流改善の申し入れが出された。

一昨年より原油高の影響により、印刷の主要資材であるインキ・溶剤・フィルムをはじめとした石油化学製品などの大幅な値上がりが続き、一部では、フィルム材料の供給不足が起こり、受注残を抱えながら稼働が停止する状況にまで追い込まれる事態も発生、当組合員の事業活動に深刻な影響が及んでいる。こうした中で、関東グラビア協同組合においては、価格転嫁をメインとした取引改善に向けた活動を全国グラビア協同組合連合会と連携を図りながら強力に推進し、原材料の値上げ分の価格転嫁は前進し、実質的な増収基調となってきた。バブル経済が崩壊して以来、30余年続いたデフレ経済をようやく脱却、インフレに向かう潮流の中で、依然として価格改定を見送り、商品によっては価格引き下

げを実施しているのが大手流通・小売事業者である。

仕入先からの値上げ要請を頑強に抵抗しながら、低価格のPB商品を拡充させている。そのため、食品メーカーを主要得意先とする当組合員の値上げ交渉も難航し、企業経営が圧迫され続けている。他方、大手コンバーターにも強硬な値上げの動きが見られ、それを拒んだ食品メーカーが中堅コンバーターに受注シフトを図るも、元々あまりにも安値での発注をしていたために引き受け手がいないという状況も発生した。

また、印刷産業の中では比較的安定しているといわれる軟包装グラビア印刷においても、海洋プラスチックごみ問題から派生した、プラスチックは「悪」のイメージが多くのメディアから発信され、間違った認識が一般社会に広まり続けている。それゆえ、社会に不可欠な軟包材の供給責任を担う当組合としては、こうした状況を業界存続の危機と捉え、「全国グラビア協同組合連合会」を中心に「軟包装価値向上委員会（仮称）」を発足、関係者の熱意により『軟包装のキャッチコピー』が誕生した。【目立ってしまいますが、実力もすごいのです】とのキャッチコピーを旗印に、社会インフラを担う産業であるとの広報活動を開始した。「ソフトパッケージ（＝軟包装）」という新たなイメージ戦略を推進し、「●入れる●届ける●保つ●伝える」という4つの機能を紹介するコピーを、関係省庁・団体に発信、同時に当組合機関誌『GPJAPAN』に掲載し啓蒙に努めた。さらに7月6日に改訂版 Ver02 を発表、「●閉じる●届ける●保つ●伝える」として啓発活動を推進している。

令和2年より「外国人技能実習制度」の評価試験実施を開始、出張試験は回を重ね、累計90回の実施となった。10月には大阪に待望の民間試験施設「岬試験会場」を開設し、『何とか自社の工場稼働を止めずに試験実施が出来ないか』という組合員の要望をくみ上げることができた。また、日印産連を通じた「特定技能」職種の認定要請の結果、3月29日の閣議決定にてグラビア印刷作業職種が追加されることになり、「技能実習制度」3年と「特定技能1号」5年と、合わせて8年間の外国人就労の道が開かれることとなった。

なお、当組合の運営にあたり、組合員各位にはこの一年を通じて、ご支援を賜り、深く感謝申し上げる次第です。

第2号議案 令和6年度における事業計画

山下雅稔副理事長が令和6年度の事業方針について提案を行い、袖山専務理事から令和6年度収支予算並びに経費の賦課および徴収方法について説明があり、無事承認された。

令和6年度事業計画

令和5年度の日本経済は、昨年5月、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「2類相当」から「5類」へ変更になったことに伴い、人の移動も回復、コロナ禍でダメージの大きかった



山下副理事長

外食産業や旅行関連産業もほぼ正常化するなど、全産業にわたり企業活動もコロナ前の状況に戻りつつある。外国人旅行者数の回復も顕著となり、インバウンド需要も拡大が続いている。

他方、3年目に入ったロシアのウクライナ侵攻に加えて、昨年10月に勃発したイスラム組織ハマスの襲撃に端を発したイスラエルによるガザ地区への攻撃、そして今年4月にはイスラエルとイランが衝突するなど、近年にないほど地政学リスクが高まり、欧米諸国の金融政策等による円安進行と相まって原油価格が再び騰勢を強めている。その結果、原材料価格の上昇があらゆる産業に波及し、消費者物価指数も2%をはるかに超える上昇が続き、22カ月連続（2024年3月現在）で実質賃金が減少、消費低迷に拍車をかけている。こうした状況を受けて、政府は価格転嫁と賃金の引上げを経済界に強く求め、今春、大企業は1991年以来33年ぶりとなる平均5.28%の賃上げを実施した。しかし、中小企業における価格転嫁と賃上げ状況など経営環境は依然として厳しく、倒産件数が急増している。その背景には、コロナ禍で中小企業を資金面で支えた実質無利子・無担保のいわゆる「ゼロゼロ融資」の返済が昨夏から本格化した影響も大きい。

当業界においても、インキ、溶剤、フィルム等の値上げの動きが止まらない。今年度においても、際限のない原材料価格の高騰が我々の事業活動に大きな影響を及ぼすものと思われる。また、人材不足や物流業界のいわゆる「2024年問題」の深刻さは、大きな経営課題の一つである。中小企業、特に我々のような中小の製造企業が生き残っていくためには、エネルギーコストを含めたすべての原材料価格上昇分の確実な価格転嫁に加え、人材確保のために賃金水準を引き上げるだけでなく、個々の企業が有している経営資源を十分に活かしながらその強みを磨き、時代の変化に適応する経営が、かつてなく求められている。

今年度、当組合では上記の諸課題を含めて我々が直面する様々な課題に取り組んでいく。特に、外国人『特定技能制度』と新たに創設される『育成就労制度』の特定産業分野に当組合が認定された責務を果たすべく、その体制構築を重要事業と位置づけて取り組んでいく。本件は、関係省庁に対して当組合が社会インフラを担う産業であることを強く訴え、重要性が認められた結果であり、円滑に制度を運用していくことが、当業界の存在価値向上につながると考える。

また、（一社）日本印刷産業連合会が認定する印刷業界の環境マーク「GP認定制度」の新規取得を推進する。SDGsと紐づけされているGP認定を取得することは、地球環境の負荷を低減させるだけでなく、企業価値向上につながることを啓蒙していく。昨年度、GP認定工場の目標を70事業所（全グラ）としていたが、66事業所に終わった。今期中には70事業所が達成できるようGP制度の重要性を訴えていく。併せて、GPマーク製品表示についても、より一層の理解が得られるようGP認定事業所に対してPR活動を推進し、GP環境大賞『パッケージ印刷部門』とGPマーク普及大賞『グラビア・シール・

スクリーン印刷部門』において、継続的に当組合員およびその得意先が受賞できるよう GP 制度の普及活動を展開していく。

加えて、海洋プラスチックゴミ問題を契機としたプラスチック包材への偏見に満ちた報道は、社会インフラを担っている我々の事業活動に深刻な影響を及ぼしている。当組合では、業界存続の危機と捉え、『軟包装のキャッチコピー』を作成し広報活動を展開している。今期においても、そのキャッチコピー【目立ってしましますが、実力もすごいのです】を活用しながら、食品・日用品・医薬品などの流通を可能にし、フードロスの削減に大きく貢献している当業界事業の重要性を発信していく。

関東グラビア協同組合としては、組合員個々が業界の範となり、社会全体からの信頼される存在となるよう最大限のサポートを行うべく下記の事業活動を実施し、組合員並びに賛助会員各位のご協力をお願いしたい。

令和 6 年度事業活動骨子

令和 6 年度事業活動骨子は以下の通り。

- (1) 省エネ、省資源とプラスチック資源循環による地球環境保全への対応
- (2) 全国グラビア協同組合連合会を通して「日印産連」と連携を取り、行政関連経済支援策・下請適正取引・優越的地位の濫用等に迅速な対応と関連行政官庁の連携強化
- (3) SDGs とカーボンニュートラル社会への貢献
 - ・「グラビア印刷（軟包装）グリーン基準」に基づく GP 制度の啓蒙と認定取得の奨励・周知活動
 - ・「規制と自主的取り組みのベストミックス」による VOC 排出削減へ向けての支援
 - ・地球温暖化防止のための CO2 排出量削減への取り組み
 - ・省エネ法への対応の取り組み
 - ・環境関連条例等への対応策の検討と規制緩和の推進
 - ・海洋プラスチックごみ問題について関連メーカーとの連携による資源循環の情報収集
- (4) 会員・賛助会員の増強
 - ・「グラビア印刷（軟包装）グリーン基準」に基づく GP 制度の啓蒙と認定取得への近道として組合加入促進を図る
- (5) (一社) 日本印刷産業連合会への積極的な参加と、関連業界団体との連携強化
- (6) 青年部の育成と拡大
- (7) 「GPJAPAN」の内容充実と広告獲得、拡販
- (8) (一社) 日本印刷産業連合会の連携とホームページ運用による広報の取り組み
- (9) 外国人実習生制度認定団体として、技能実習評価試験の実施体制の更なる拡充
- (10) 消防法、有機溶剤中毒予防規則、改正大気汚染防止法、改正食品用器具及び容器包装の法規制、働き方改革、民法改正等の周知と遵守

(11) 新型コロナウイルス感染症の予防対策の周知と行動の徹底



手前は議長を務めた村野理事。奥左から安永副理事長、川田雄治副理事長、吉原理事長、山下副理事長

令和6年度事業計画

教育および情報提供に関する令和6年度事業計画は、次のようなものを予定している。

- (1) 省エネ・節電取り組みにおける経営支援および諸環境法規（法令）の対応支援活動
- (2) 労働安全衛生と消防法の法令遵守の啓蒙と完全実施の推進
 - ・危険物乙種第4類および有機溶剤取扱主任免許取得の奨励と啓蒙運動の展開
- (3) 優越的地位の濫用および下請法の啓蒙と周知への支援活動
- (4) SDGs とカーボンニュートラル社会への貢献
 - ・GP 認定制度の普及
 - ・グラビア印刷製品 GP マーク表示使用の促進
 - ・VOC 排出削減の維持と促進
 - ・地球温暖化防止のための CO2 排出量削減への取り組み
- (5) 改正食品用器具及び容器包装の法規制、働き方改革等の法改正の周知活動
- (6) 事業継続対策の周知活動
- (7) 各単組および青年部による見学会・講習会・セミナー・分科会発表等の開催
- (8) 情報提供
 - ・全国グラビア協同組合連合会の機関誌「GPJAPAN」の発行とホームページの充実により組合員・非組合員への情報提供

第3号議案 令和6年度借入金残高の最高限度額決定

第3号議案の令和6年度借入金残高の最高限度額について村野議長より提案があり、前期と同額で承認され、午後3時40分に総会は終了した。



理事会・懇親会

午後3時50分からは同会場において理事会を開催した。

冒頭、吉原理事長は値上げ活動に当たり、4万6000社超の企業が登録している「パートナーシップ構築宣言」を紹介。「価格決定の方法においては、不合理な原価低減要請を行わない、下請事業者の適正な利益を含み、下請事業者における労働条件の改善が可能となるよう十分に協議して決定すること、などが宣言されています。詳しい内容は各社ウェブサイトで確認できます。値上げ活動が難航した際には、登録企業であればウェブサイトからその内容をプリントアウトなどをして交渉の際に活用してください」との挨拶があった。また、10月2日（水）に開催予定の関東グラビア協同組合主催のセミナーについても触れ、「日本印刷会館2階会議室において午後3時から開催の予定です。多くの組合員とアウトサイダーの方にも参加していただきたいと思います。内容は、10月時点での育成就労制度と特定技能制度の情報共有、シマクラ保険によるパッケージ業界向けPL保険の解説、日印産連によるGP認定制度の解説を予定。ご都合を合わせて出席をお願いします」と述べた。

パートナーシップ構築宣言の記載内容については39ページに資料を転載するので、参考にさせていただきたい。また、パートナーシップ構築宣言ポータルサイト（<https://www.biz-partnership.jp/index.html>）では登録企業を検索できるので、こちらも活用していただきたい。

袖山専務理事の進行で議事に移り、2024年度日印産連表彰「印刷功労賞」「印刷振興賞」候補者推薦について、全国グラビア協同組合連合会の田口 薫会長に推薦者を一任することが承認された。日印産連派遣委員については前年度に引き続き、全グラの田口会長らが担当することが報告された。なお、2024年度の印刷産業環境優良工場表彰の開催は前年度に続き休止との報告があった。

その他、5月7日付で関グラ協組への入会申込があった㈱フレックスの加入が承認されたほか、袖山専務理事から今年4月30日に公正取引委員会が発表した手形等（手形、一



↑
サイトはこちら

括決済方式または電子記録債権)の決済短縮についての報告などが行われた。

公正取引委員会の発表では、手形等のサイトは 2024 年 11 月 1 日以降、業種を問わず指導基準が 60 日に変更されること、ファクタリング等の一括決済方式はサイトを 60 日以内にするに加え、一括決済方式への加入は下請事業者の自由な意思によること並びに親事業者、下請事業者および金融機関の間の三者契約によることを徹底すること、などが記されている。

午後 5 時 10 分、すべての決議を終えた後、「楓の間Ⅱ」に場所を移し、諸石武士理事の挨拶で懇親会がスタート。テーブルを囲んでの情報交換や歓談に花を咲かせた。



諸石武士理事の挨拶で乾杯



当日出席した理事の皆さん

組合員・単組の近況

関西グラビア協同組合

第 54 期通常総会開催報告

関西グラビア協同組合（竹下晋司理事長、(株)ダイコー）は、組合創立 55 周年の記念事業として、終戦から 80 年が迫る今このとき、私たちが享受する平和の意味を改めて皆で考える機会にしたいとの思いから、第二次世界大戦末期に行われた陸軍特攻作戦の出撃地であり、亡くなった多くの若き特攻隊員の写真や手紙、遺品を展示する知覧特攻平和会館がある鹿児島^{ちらん}の地で開催することを理事会決定し、2024 年 5 月 19 日（日）、20 日（月）の 1 泊 2 日の行程で、桜島と錦江湾^{きんこうわん}を望む鹿児島サンロイヤルホテルにおいて、31 名参加のもと第 54 期通常総会を開催しました。

鹿児島・知覧特攻平和会館へ

鹿児島空港へ到着、奄美の里で昼食をとった後、時間を早め知覧特攻平和会館へと急ぎました。向かうバスの中、亡くなった特攻隊員、出撃の日まで彼らを支え「特攻の母」と呼ばれた富屋食堂の鳥濱トメさん、さらには特攻作戦により命を失ったアメリカ兵にも目を向けた特攻に関する DVD を放映し、無常な特攻の現実、戦争の惨さ、愚かさを再認識した後、会館では語り部による講話を聞き、家族や恋人に宛てた最期の手紙や展示を皆それぞれ見学しました。多くの手紙、展示を見るには時間が足りず心残りではありましたが、平和の意味を強く考えさせられた時間でした。



零式艦上戦闘機「零戦」

鹿児島サンロイヤルホテルで第 54 期通常総会を開催



竹下理事長による
総会開会の挨拶

その後ホテルへ移動し、午後 5 時 30 分、総会は事務局の司会によって進行、開催に際し、竹下晋司理事長が、大阪を離れて遠方での総会にも関わらず集まっていた組合員・賛助会員に謝意を示すとともに、「外国人技能実習制度に代わる育成就労制度の創設を盛り込んだ改正法案が 5 月 17 日の衆院法務委員会で可決されました。明後日の 21 日に衆院本会議で可決、参院に送付される予定で、今国会で成立すれば、公布から 3 年以内に施行されます。詳細についてはまだこれからですが、情報はメルマガなどで配信、共有させていただきます。ま

た、本日の第4号議案の補足資料として別紙を添付していますとおり、昨今の原材料、光熱費、人件費等の高騰により組合行事で利用するホテル宴会場の会場費、宴会の料理・飲み物等の価格改定、その他項目でも値上げが相次ぎ、組合会計が圧迫されています。このまま

では数年後には組合活動の維持が難しくなることが予測され、賦課金・賛助会費の若干の値上げを考えていかなければならない状況です。今年度は組合行事での参加料を通常より少し多めにいただき、来年の通常総会で改定案を上程することをご理解いただいて本日の審議に入らせていただきます」と開会の挨拶をしました。

続いて、司会より本日の通常総会は定足数を満たした旨が告げられ、竹下理事長が議長に選任され議案審議に入り、第1号議案から第4号議案が欠席者の書面議決権行使も含め賛成多数で可決され、すべての審議を終了しました。

第1号議案 令和5年度 事業報告書の承認の件

第2号議案 令和5年度 財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案の承認の件

第3号議案 令和6年度 事業計画案及び同収支予算案の承認の件

第4号議案 令和6年度 経費の賦課及び徴収方法決定の件

総会終了後は懇親会

総会后、同ホテルの別会場にて懇親会を開催しました。**森脇拓也青年部部長（森脇鉄工株）**の司会進行によりスタートし、竹下理事長の開宴挨拶の後、賛助会員を代表して**東洋インキ(株)取締役 リキッドインキ営業本部本部長 小宮洋一氏**の乾杯の発声により賑やかに宴会が開催され、情報交換や歓談の輪が繰り広げられました。最後に**菅野弘司理事（菅野**



総会の様子



懇親会で挨拶する竹下理事長



東洋インキ(株)小宮氏による乾杯の音頭



菅野理事による閉宴の挨拶

包装資材(株)の中締めの挨拶と一本締めで、午後8時終了しました。宴会後は皆で鹿児島最大の繁華街「天文館」へ場所を移し二次会を楽しみ、初日を終えました。



懇親会の様子

翌日はゴルフ・観光へ

翌20日はゴルフ（かごしま空港36カントリークラブ）と観光に分かれ、朝早くから夕方までの時間を満喫しました。

観光組は「維新ふるさと館」にて、西郷隆盛を中心に幕末の薩摩の様子と維新を支えた英雄のエピソードを音や光、ロボットを使ったドラマシアターで体感し、次に西郷隆盛終焉の地となった城山を背景に仁王立ちする「西郷隆盛銅像」を写真に収め、世界文化遺産で薩摩藩島津家別邸の「仙巖園」^{せんがんえん}では皆思い思いに散策や、名物の両棒餅^{ちゃんぽもち}や白熊かき氷、昼食を楽しみ、観光組のメインイベントである桜島へ渡る片道15分のフェリーの中では、事前に参加者からもたらされた情報で、乗客が走って食べに行く名物うどんをほとんどの参加者が食し、鹿児島グルメを満喫しました。

桜島を一望する「有村溶岩展望所」では、有名なライオン岩を皆で探すことをテーマに、展望所に続く長い階段を上りました。途中、「皆さんこれがライオン岩ですよ～」という三和化工紙(株)三井貴子社長の可愛いウソに皆が翻弄され、どう見てもライオンに見えない岩をスマホで一生懸命撮影し、展望所に到着しました。観光組皆で集合写真を撮影しバスへと戻る道中、本物のライオン岩を見つけた時は「騙されたー！」と声が上がリ、皆で大盛り上がりの撮影会となりました。三井社長の最高のウソ



城山を背景に仁王立ちする
西郷隆盛銅像と愛犬「カヤ」



仙巖園にて白熊かき氷

に感謝です。桜島の火口付近からは灰色の噴煙が何度も立ち上がりとても迫力満点でした。

観光最後は「黒酢の郷 ^{かく} 梶 ^い 志田」にて2万個並ぶ壺畑の見学と試飲、土産物の購入など、思い思いに時間を過ごし空港へ向かいました。空港でゴルフ組と合流し、最後は高桑真樹副理事長（株ダイドー）から2日に亘る行程の総括と締め挨拶をいただき解散となりました。

当初雨予報だった鹿児島島の空は両日も見事に快晴となり、梅雨入り前の記憶に残る素晴らしい記念総会となりました。



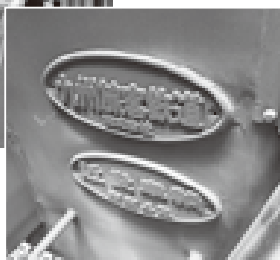
有村溶岩展望所にて集合写真



本物のライオン岩



黒酢の郷梶志田、2万個の壺畑



奥田副理事長が加治木駅で撮影した787系車両両特急「きりしま」(左)と「近畿車輛 平成4年」の刻印(車輛デビューの年だそうです)。20日、鹿児島空港から伊丹空港へ向かう一向と別れ、JR日豊本線の「加治木駅」から「鹿児島中央駅」までの約25分の区間を憧れの特急「きりしま」に乗り、電車の旅を楽しまれたようです

奥田拓己副理事長撮影の朝の桜島ベストショット
(表紙にも掲載させていただきました)



令和6年度事業計画

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

令和6年度は、変革の時代においてグラビア印刷業界が直面する様々な課題に対応し、新たな成長機会を模索する重要な年となります。持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取り組み強化、環境問題への更なる対応、そして技術革新による業界の発展を主軸に置きます。また当業界は、長年にわたり顧客に対し高い品質やサービスを維持しながら、しかも短納期で製品の安定供給をし続けてきました。今後も生活財やフードサプライチェーンの一端を担う当業界が社会的な役割を果たすために、厳しい現状を顧客や社会にご理解いただき、その価値を認めていただかなければなりません。そのため、今年度も全国グラビア協同組合連合会が展開する軟包装業界イメージアップ事業に協力します。

これらを実現するためには組合員の皆さんはもちろん、次世代の業界を担う青年部の皆さん、そして資材や情報を提供してくださっている賛助会員の皆さんとの連携強化が必須であると考えます。社会から必要とされる当業界の確固たる地位を築くために、是非とも令和6年度も皆さまのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

基本方針

1. 環境問題への取り組み

- ① VOC 排出抑制自主行動計画推進策および処理装置の紹介
- ② グリーンプリンティング認定工場の取得推進および支援事業
- ③ 脱炭素、再生可能エネルギーの普及など環境対策情報収集・セミナーの開催

2. 広報活動の取り組み

- ① 業界情報誌「GPJAPAN」の提供
- ② 関西グラビア協同組合の広報活動として HP の充実およびメールマガジンを通しての速やかな情報発信の確立
- ③ 青年部会員連携のため SNS の活用

3. 教育情報事業の取り組み

- ① 第18回グラビア技術研修会の開催（青年部を主体とした勉強会を年1回開催する）
- ② 経営者および後継者を主とした第18回経営セミナーの開催
- ③ 来年度開催予定の青年部全国大会（大阪）に向けた検討および推進

4. 親睦活動の取り組み

- ① 福利厚生事業（総会、年末情報交換会、新年賀詞交歓会、親睦会等）の開催

5. 共同事業の取り組み

- ① 共同購入事業（PL、火災共済等各種保険、副資材）の検討および推進
- ② 新制度外国人育成就労制度への対応